受賞おめでとう

二団体に文化奨励賞

ことしの文化賞は、留萌小学校器楽合奏団（教育）と留萌ペンクラブ（芸術）の二団体に、それぞれ文化奨励賞が贈られることに決まりました。

これにともない、受賞式は、十一月七日午後四時から日本劇場で行われます。

教育

留萌小学校器楽合奏団

留萌小学校（校長成田敏雄）の器楽合奏団は、〝音楽の辺地といわれた留萌を音楽の都にしよう〟と、さる三十年四月に作られましたが、かわいい子どもたち五十名が大きなコントラバスなどいろいろの楽器で活発な活動をしています。

昭和三十五年には、全日本器楽合奏コンクール全国大会で優秀校として表彰されたのをはじめ、同年と翌三十六年に全北海道学校器楽コンクールで第一位さらに本年度学校音楽コンクールで留萌地区代表校となるなど優秀な成績をあげています。

こんどの受賞は、全道的な優秀演奏団体とし全国的にも有名で、郷土留萌の名を高かくしさらに本市での文化的な機運の醸成に多くの貢献をした。

芸術

留萌ペンクラブ

・留萌ペンクラブ（代表前田忠雄さん）は、文芸を通じ地域文化の向上を目的として、会員二百八十四名で設立、雑誌「PEN」を発行し続け、ことし九月までに二十六号を発行しています。

さらに、北海道文学者懇話会、道詩人協会とも提携して、有名文学者や画家を招いて、文化講演会、座談会を開く一方日本各地の同人誌、留萌市内の文化団体との交流をはかり、文化活動の不毛の地といわれる留萌市にあつて多くの困難を克服して、地道に意欲的な活動を続けていることが、こんどの受賞となったもの。

いままで文化賞を受けた人たち

（敬称を略します）

▽文化賞
故蓼沼ナヲ（芸術）
故伊佐津和平（教育）

▽文化奨励賞
田辺惣治（教育）
田中進一（教育）
留萌朗読研究会（芸術）
原田武夫（教育）
高木憲一（芸術）
高橋正吉（芸術）
佐藤作太郎（教育）
東光小学校鼓笛隊（教育）

臨時職員を正職員にするための定数のワクを増やしたのです

留萌市の職員の数をふやす条例が、九月の議会で決まりました。

これは、総数で七十七人増やして四百四十三人にするものです。

しかし、これはいまいる職員のほかにあたらしく七十七人ふやすということではありません。

市役所のしごとは、しだいに複雑になり、しごとの量も非常に増えてきたためほかの類似都市よりも少ない職員の数では、とうていしごとの処理がむずかしくなったため、臨時職員や準職員などという形でしごとを続けている職員がおります。

これでは、こうした人たちの生活が不安定で、それによってしごとの能率をあげるにも問題があるため、正式の職員とするためにとったのです。

とくに、こんどの増加は市役所本庁の分がほとんどですが、その本庁職員を比らべても、類似都市の網走二百三人、紋別百九十二人、根室百九十八人であるのに、留萌市では、百三十人という少ない職員のワクにしばられていたため、この少ない分を、正式の職員として採用することができず、当然それだけの職員が必要だったのに待遇もあまり恵まれていない人たちによってしごとの処理がおぎなわれていたのです。

同じようにしごとをしながら、職員のワクがないという理由から生活が保証されないということはしごとの能率、意欲にも影響しますので、こんどのように職員のワクをふやしたのです。

贈られる文化奨励賞のたて

ことし贈られる文化奨励賞の「たて」は、たて六十cm、よこ四十五cmの大きなもので、王冠、ワシ、かたなを模様にして、タメ色うるしぬりのりっぱなものです。

基本選挙人名簿を縦覧

らい年春の市議、道議、知事選挙に使われる基本選挙人名簿の縦覧が、五日から市選挙管理委員会で行われます。

この名簿は、九月十五日現在で行われた住民登録実態調査にもとづいて調製されたものですが、とくにらい年春行われる市会議員、道会議員、道知事選挙に使われるものですから、ご注意ください。

▽縦覧する期間
十一月五日から十九日まで、毎日午前八時半から午後五時まで（土、日曜も同じです）

なお、基本選挙人名簿にのっているのは、昭和十七年十二月二十七日までに生まれ、昭和三十六年六月十五日以前から引き続き市内に住んでいる有権者です。

しごとの時間がかわります

こん月から、市役所のしごとの時間が、次のように変わりました。

午前九時から午後五時まで。

昼休みは、午後零時から四十五分まで。

なお、土曜日は午後零時四十五分まで。

全道市長会が開かれました

全道各地の市長たちが集まって、全道市長会定期総会が、十月二十三日留萌市役所で開かれました。

市庁舎の落成を機会に開かれたものですが、留萌市で開くのは、昭和二十二年から十五年ぶりです。

この日は、原田留萌市長を議長に、いろいろの問題を熱心に話しあったあと、貸切りバスで千望台をみて終りました。

なお、千望台からながめた市街地、留萌で宿泊して見た留萌の姿が、前に来たときとは、うつて変わった躍動ぶりと、市勢発展をほめたてていました。

（写真は、市役所で開かれた全道市長会の定期総会）

はなやかに安全パレード

留萌市が、安全都市宣言したのを記念して、十月十八日パレードがはなやかに行われました。

〝おたがいの努力で築け安全都市〟のスローガンのもとに、午後一時関係官庁や、市内小学校の児童を集め寺井助役（市長代理）が力強く宣言文を朗読しました。

このあと、交通安全に協力した人たちに表彰状と記念品が交通安全協会長から贈られました。

続いて、パレードは、市役所前からブラスバンドのマーチにあわせて市中を行進、市消防車も加わつて、まち行く人たちの注目を集め、有意義に終りました。

はなやかに菊花展ひらく

文化の日にちなんで、秋の恒例行事、菊花展が華やかに開かれました。

ことしは、第八回目の菊花展ですが、十一月一日から四日まで、市公民館の会場に集められたのは、懸がいをはじめ、たんせいこめて作った秀作ばかり約百五十点。

審査の結果、優秀な作品に賞状などが贈られましたが、おとずれる人々の感嘆の声がたえませんでした。

なお、このほか、ことしは、はじめての増毛産りんごの展示即売会も行われ、大変な好評でした。

知事賞荒関藤八（一般花大輪）支庁長賞同（盛技花大輪）市長賞同（一般花大輪）教育長賞薄井志郎（懸崖）商工会議所会頭賞高橋富次郎（盆栽）農協組合長賞安藤駒太郎（数立）

このほか、各新聞社などからも、数多くの賞が、贈られています。

（写真は、にぎあう菊花展会場）

読書感想文の入選作が決まる

市立図書館などが、読書週間にちなんで市内の小中学生から、読書感想文を募集していましたが、小学生三十五点、中学生十二点の参加作品の中から次の作品が入選と作まりました。

▽小学生の部

ああ無情を読んで
留小六年　中西太紀

ジャングルブックのモーグリへを読んで
留小五年　工藤深雪

沈む船
東光小六年沖田美紀子

身を捨ててを読んで
東光小六年　桜田睦子

▽中・生の部

罪と罰を読んで
留萌中三年高橋道子

平家物語を読んで
港南中三年桂川悟

一郎君と私
港南中三年　加藤準司

君たちはどう生きるかを読んで
留萌中二年　譲原　令

千望台の標識もあらた

正式に展望台の名前がかわる

〝千望台〟の命名式が、六日行われ、正式に三角点展望台は、千望台と名づけられました。

これは、市観光に売り出そうと、広く一般から募集したもので、この日は名づけ親の沖見町元田甲学さんをまじえた人たちが、貸切りバスで登り、文字もまあたらしい千望台の標識のたつた展望台から、市街地をながめたり、遠く水平線に浮ぶ天売、焼尻島をながめらい年からは、観光客の呼びこみに力を入れようと一同大はりきりでした。

なお、続いて市役所で行われた式典で、東観光協会会長から元田さんに、表彰状と賞金が手渡たされました。

写真は千望台風景

警察官を募集

北海道警察本部は、次の要領で募集しています。

▽受験資格／昭和十二年四月二日から昭和二十年四月一日までに生まれた男子▽採用人員／二百名▽受付期間／十月十五日～十一月五日▽試験日／十一月十八日留萌市▽その他／申込用紙は留萌警察署にあります。

〝国民の歌〟歌詞募集

〝国民の歌〟を次の要領で広く募集していますので多数ご応募ください。

▽内容…日本中のだれもがいつ、どこでも、親しみやすく、声高く歌える〝国民の歌〟をお願いします。

▽形式…自由です。原稿用紙に書き、欄外に住所、氏名、職業、年令を明記してください。

▽しめ切り…昭和三十七年十月二十日

▽送り先…東京都中央区銀座西七丁目一番地
国民の歌委員会

▽入選歌詞発表…昭和三十八年一月末に入選歌詞三編を、新聞、雑誌、ラジオ、テレビで発表

▽その他…入選歌詞は、日本作曲家協会に依頼し、これを、国民の一般投票によつて最優秀作一編、佳作二編を決定する。

▽賞金…一等五十万円、副賞総理大臣賞、佳作一席三十万円、佳作二席二十万円各副賞文部大臣賞